

ジオパーク講座「“世界遺産”に残る大地の記憶」全2回 「北黄金貝塚」「入江・高砂貝塚」講座 を開催しました！



北黄金貝塚に再現された「縄文の森」。

今もきれいな湧水が流れています。



いくつもある貝塚は、それぞれ違う時代に作られたもの。貝の種類も違いました。

洞爺湖有珠山ジオパークでは、地域の歴史を物語る縄文遺跡を重要な見どころとして紹介しています。今年7月、ユネスコ世界遺産リストに「北海道・北東北の縄文遺跡群」が記載されました。

縄文遺跡群には、伊達市の『北黄金貝塚』、洞爺湖町の『入江貝塚』『高砂貝塚』が含まれており、あらためてこれらの遺跡の価値が評価されています。

そこでジオパーク推進協議会主催のジオパーク講座として、11/7と11/13に学習会を行いました。

北黄金貝塚では、豊かな海の恵みを背景に、数千年もの長い期間、人々が暮らしていました。地球規模で寒冷化が進み、海岸線が遠くなってしまおうと、それに合わせるように家の位置を移動。よく採る貝もアサリからカキ・ホタテに変えるなど、環境に順応した生活をしていたことがわかります。

大地の特徴に合わせ、自然環境に負荷をかけない暮らし方は、現代の私たちが目指す「持続可能な社会」に通じるのかもしれない。

洞爺湖有珠火山マイスター 誕生！



有珠山山麓でのフィールド審査



面接の様子

洞爺湖有珠火山マイスターは、火山について学び続け、災害を減らす知恵や噴火の記憶を語り継ぐと認定された人たちで、2008年の制度開始から、これまで54名が認定されてきました。

11月6日、有珠山ロープウェイと昭和山山麓を会場に、洞爺湖有珠火山マイスターの認定審査が行われました。事前提出のレポートと、フィールド審査、面接審査を経て、新たに3名がマイスターとして認定されました。

今後、防災・減災の視点を生かした活動が期待されます。

〈2021年11月認定 洞爺湖有珠火山マイスター〉

- ・ 酒井 史明 (伊達市大滝区)
- ・ 宇井 尚 (伊達市大滝区)
- ・ 飯村 直樹 (洞爺湖町)

(敬称略、審査順)